広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課　☎㉓0040　koho@city.makinohara.lg.jp

上肢に障がいがあり、立った姿勢で波に乗る「スタンド１」クラス

「夢に乗るまち」で誰もが波をエンジョイ

■第４回静波パラサーフィンフェスタ

第４回静波パラサーフィンフェスタが５月30日から６月１日まで、静波サーフスタジアムにて開催されました。

世界大会である「ジャパンオープン」に世界７カ国合計45人の選手が集い、市内からは加藤(かとう)あすみさん（勝間田区）が出場しました。集まった観客からは、見事なライディングを見せた選手に大きな歓声と拍手が起こりました。また、初心者向けのパラサーフィン体験会には市内外から55人が参加し、サーフィンの楽しさを満喫しました。

私たちが摘んだ新茶をぜひ飲んで

■牧之原中学校生徒による新茶販売

牧之原中学校３年生が５月25日、東名高速道路牧之原サービスエリア（下り）で新茶の販売を行いました。

販売したお茶は、４月下旬に学校の茶園で生徒が手摘みした122キロの新茶を地元の業者が製茶し、50グラムずつ袋詰めにしたものです。

茶娘・茶息子姿となった生徒たちは、サービスエリアを訪れた人たちに大きな声で販売を呼びかけ、昼前には全て完売。生徒たちは地域で収穫したお茶の販売に貢献できたことを喜んでいました。

お客さんにお茶を販売する牧之原中学校の生徒

色とりどりの「傘」咲き始め

■秋葉公園のアジサイが見頃

秋葉神社参道沿いにある秋葉公園（川崎区）に咲く市の花「アジサイ」が、６月上旬から見頃を迎えました。

同公園には、８種類約4,000株のアジサイが群生し、毎年５月下旬から６月下旬にかけて、遊歩道沿いに赤紫やピンク、白、水色の花を咲かせます。

「第31回全国花のまちづくり牧之原大会」の現地見学会で公園を訪れた人は、咲き始めのアジサイの花をじっくり眺めたり、写真を撮影したりするなど、思い思いに市の花を楽しんでいました。

市の花であるアジサイを観賞する市内外から訪れた人たち

スズキ㈱と㈱スズキ自販浜松と協定を結ぶ杉本市長㊥

車両貸与が地域防災の一助に

■災害時における車両貸与等に関する応援協定

市、スズキ株式会社、株式会社スズキ自販浜松は５月28日、災害時における車両貸与等に関する応援協定を締結しました。

これは、台風や地震など大規模災害等発生時や発生する恐れがある場合に、市への車両貸与などの応援を実施するもの。物資運搬や避難所での電源供給などの使用を想定しています。杉本市長は「本協定は災害時の復旧活動や電気自動車の貸与を受け、電源供給を可能とすることができ、非常に心強い協定が締結できた」と挨拶しました。

追悼の言葉を述べる市遺族会の池田司(いけだつかさ)会長

戦後80年　平和への誓いを新たに

■牧之原市戦没者戦災死者追悼式

牧之原市戦没者戦災死者追悼式が５月22日、い～らで執り行われました。

式典では、遺族会や関係者、認定こども園すすき幼稚園の園児たちが祭壇に献花を行い、戦没者や戦災死者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。杉本市長は「終戦から80年の節目の年。戦争の記憶を次の世代へ継承していく使命は変わらない」と式辞を述べました。

式典後には、県遺族会の増田幹夫(ますだみきお)副会長により戦争の記憶と記録などの語りが行われました。

コスプレを通じて市の魅力発信

■まきコス2025

まきコス2025が５月24日と25日、市内で開かれました。

これは、アニメや漫画などの登場人物の衣装を着るなどして、その人物になりきる「コスプレ」の撮影会を通じて市の魅力を知ってもらうイベント。市内外から集まった200人以上の参加者はさがらサンビーチや油田の里公園、カタショー・ワンラボ、寺院など９カ所などを巡りました。参加者は、「乗馬撮影もできて楽しかった。また機会があれば友達を誘って参加したい」と話しました。

相良油田が舞台となった漫画のコスプレで撮影する愛好家

自分が通う地域をきれいに

■相良地域清掃活動

相良高校は４月30日、さがらサンビーチや小堤山公園など相良地区の清掃活動を行いました。

この活動は奉仕活動の一環として、海水浴シーズンを前に地元の海岸をきれいにしているものです。昭和54年から始まり今年で47回目の開催となります。

当日は天候にも恵まれ、全校生徒338人や同校職員、地元企業など約400人が参加。生徒らは砂浜に打ち上げられたプラスチックごみを中心に、袋に集めていきました。

砂浜のごみを拾う相良高校の生徒

松平定信公が居城した小峰城前で握手を交わす鈴木市長㊧と杉本市長㊨

歴史を超えて　かつての「政敵」と交流を

■松平定信公ゆかりのまち・福島県白河市を訪問

杉本市長など関係者は５月10日と11日、江戸幕府の老中で「寛政の改革」を行った白河藩主・松平定信公ゆかりの福島県白河市を訪問しました。

大河ドラマの放送を契機に実現したもので、田沼意次と松平定信は歴史上深い確執があったとされています。

一行は、小峰城で鈴木和夫(すずきかずお)白河市長と懇談し、過去の恩讐を超えて未来志向の関係を深めることを誓いました。両市は今後、文化や観光面で具体的な交流施策を検討していきます。

【訂正とお詫び】５月号20ページ『まちのわだい「令和７年度牧之原市消防団辞令交付式」』に誤りがありました。訂正しお詫びします。
［訂正箇所］写真の説明文　（誤）神﨑団長㊧から辞令を受ける名波さん（右から２番目）
（正）神﨑団長㊧から班長辞令を受ける秋山さん（右から２番目）ら